

令和6年度

第2回金沢市交通まちづくり協議会

令和7年2月13日

金沢市交通政策課

会議次第

日時：令和7年2月13日(木)10時00分～11時20分

場所：金沢市役所第二本庁舎 3階 大研修室

1. 開 会

2. 挨 捶

3. 議 題

報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について.... 3ページ

報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて 17ページ

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について 23ページ

4. 閉 会

金沢市交通まちづくり協議会委員及び出席者名簿

(敬称略)

役 職 名	委 員 名	備 考
金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授	中山 晶一朗	副会長
金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授	片桐 由希子	
国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長	五十川 泰史	代理出席：計画課長 水野 力斗
国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 交通企画課長	新倉 孝礼	欠席
国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局長	猿谷 克幸	
石川県 企画振興部 交通総合対策監	三林 直慶	代理出席：主事 松本 空人
石川県 土木部 次長	宮本 義浩	
石川県 警察本部 交通部 首席参事官	宮永 裕嗣	代理出席：次席 橋本 則夫
一般社団法人 石川県タクシー協会 専務理事	宮崎 芳信	
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室長	鹿野 剛史	代理出席：室長代理 森下 亜友美
IRいしかわ鉄道株式会社 取締役総務企画部長	杉藤 信之	
北陸鉄道株式会社 取締役自動車部長	高橋 航	
西日本ジェイアールバス株式会社 北陸支店長	大久保 範繁	
石川県私鉄バス労働組合協議会 議長	的場 達也	代理出席：大脇 貴之
金沢市町会連合会 副会長	外山 郁生	
金沢市校下婦人会連絡協議会 会長	能木場 由紀子	
一般社団法人 金沢経済同友会 副代表幹事	宮本 治郎	代理出席：事務局長 徳田 学
金沢商工会議所 女性会 直前会長	富久尾 佳枝	
株式会社金沢商業活性化センター 代表取締役	嶋浦 雄峰	
金沢市副市長	新保 博之	会長
金沢市 土木局長	木谷 哲	欠席

報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について

金沢における公共交通のあり方

- 鉄道・バス等の公共交通は、通勤・通学・通院・買物、レジャーなど、市民の日常的な移動を支える大切な存在。
- 金沢市においては、公共交通の多くは民間事業者により運営されている。
- 大量輸送も可能な公共交通が存在することで、交通渋滞の緩和、環境負荷の低減、外出機会の創出、運動不足解消による健康増進など、個人にとっても社会にとっても望ましい効果（ウェルビーイング）をもたらすという重要な役割を担っている。
- その観点から、公共交通は「地域の財産」であり、民間事業者の営利活動としての側面以外にも目を向ける必要。
- このため、公共交通ネットワークが幹・枝・葉により構成されることに着目しながら、市場経済に委ねる部分、政策的な対応が必要な部分を見極め、交通事業者・行政・住民が一体となり、持続可能な公共交通ネットワークが次世代に継承されるよう取り組むことが重要。

用途

通勤

通学

通院

買い物

レジャー

など

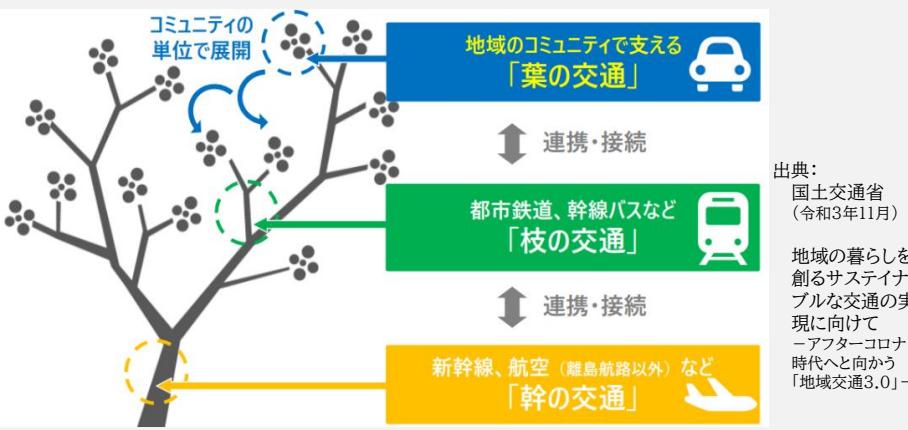
特徴

- 自分で運転する必要がない
- 自家用車よりも多くの人を輸送できる
鉄道:400人[2両編成]／バス:50人／ジャンボタクシー:10人

- 自家用車を持たない人も移動しやすい
外出機会の創出、健康増進、家族による送迎の負担軽減
- 道路混雑を緩和できる
- 移動による環境負荷を低減できる

効果

公共交通を利用しない人や
社会にもプラスの効果



50人を運ぶ
ために必要な
車両数



50台 自家用車

1台 バス

1編成 路面電車

出典(公財)富山環境財団 エコライフ撮影会 のりものと環境を考える(2008年実施)

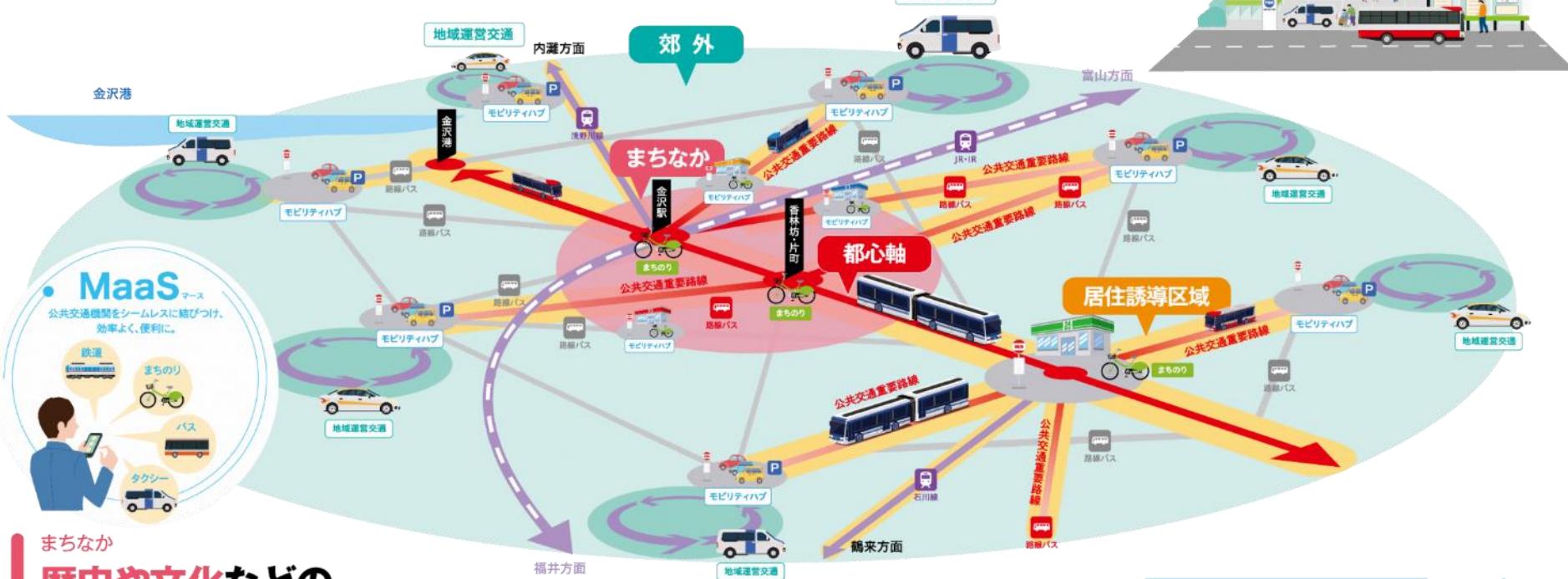
第3次金沢交通戦略①

第3次金沢交通戦略が目指す姿

[基本的な考え方]

歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり

交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり

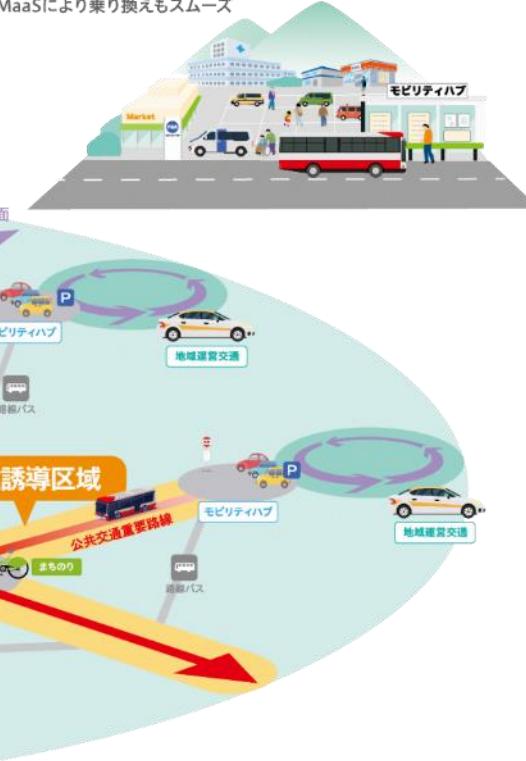


歴史や文化などの
魅力が楽しめる人中心の
移動環境の充実

- トータルデザインされた新しい交通システム(第1段階)を都心軸中心に導入
- 人中心のウォーカブルな空間の整備
- 自転車走行指導帯やまちのりの充実
- 来訪者等にも分かりやすい案内や機能でラクラク移動

郊外 地域の実情に合わせた柔軟な移動手段の確保

- 地域運営交通を使って、住民が地域の病院・スーパーに自家用車なしでも行ける
- 地域運営交通と公共交通重要路線の鉄道・バスが、モビリティハブで接続し、まちなかにも便利に行ける
- MaaSにより乗り換えもスムーズ



居住誘導区域
公共交通で
便利に移動ができる
移動環境の充実

- 専用レーンによりバスの移動をスムーズに
- モビリティハブによる交通連携
- MaaSによりスムーズにバス・まちのりなどを利用



• Mobility Hub モビリティハブ
さまざまな交通手段が集約した利用拠点

第3次金沢交通戦略②

【第3次交通戦略で目指す公共交通ネットワーク】

- まちなかを核とした幹線公共交通ネットワークの構築
- 地域の状況に応じ自宅から目的地まで過度に自家用車に頼らず移動できる環境の確保

【各エリアにおける考え方】

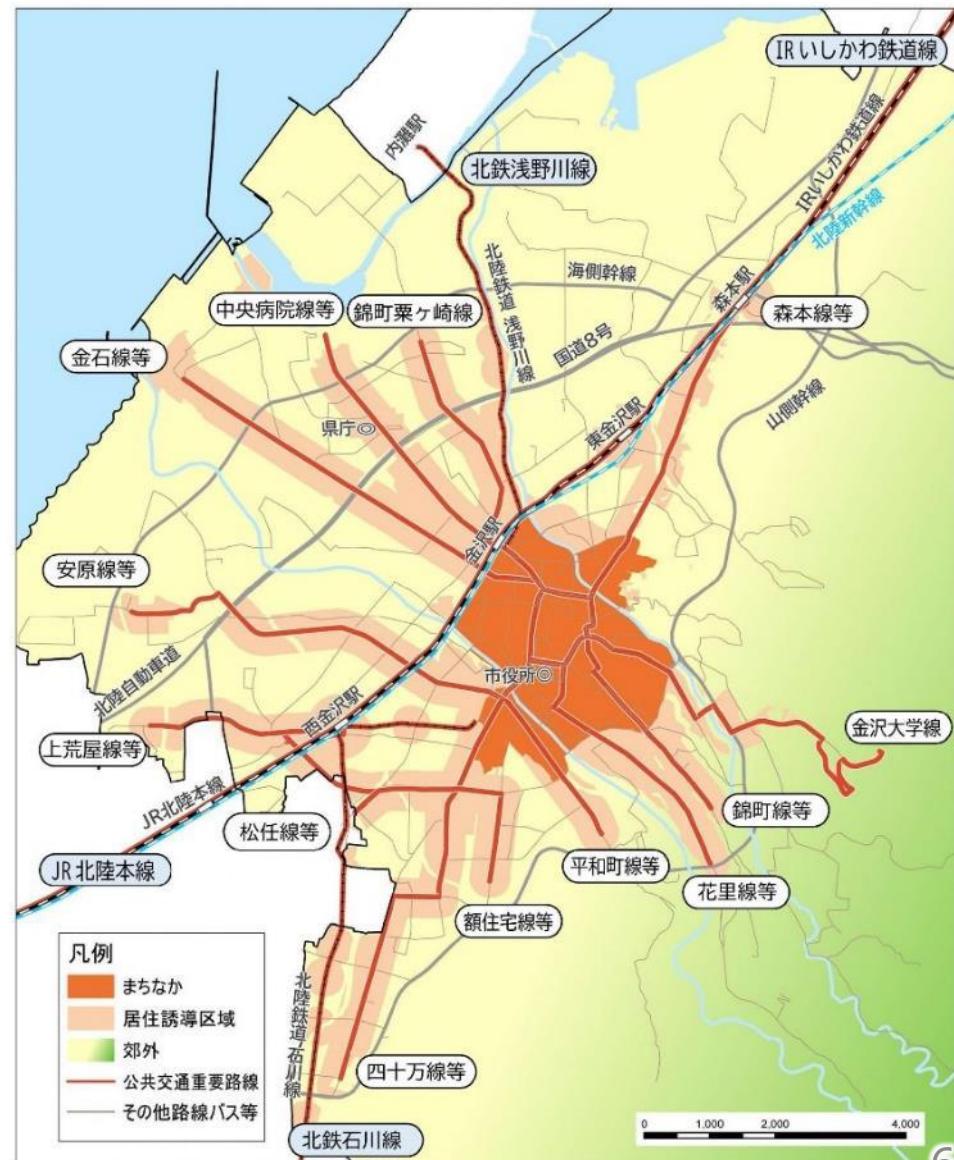
- まちなか**
- 自家用車等の流入を抑制し、徒歩・自転車・バス等の多様な交通モードが便利に利用できる人を中心の空間を形成する
 - 都心軸を中心とした「新しい交通システム（第1段階）」の整備により、まちなかと郊外におけるスムーズな移動を実現し、魅力をさらに高める
- 居住誘導区域**
- まちなかと郊外を結ぶ「公共交通重要路線」について、定時性や速達性などの利便性を高め、公共交通の便利な区域への居住の誘導を図る
 - 鉄道・バス等との接続・乗継ができるモビリティハブ※の整備を進め、多様な交通モードを便利に利用できる移動環境を整え、自家用車からの転換を目指す
- 郊外**
- 自家用車と公共交通を組み合わせながら、地域の特性に応じたフィーダー交通の導入を進め、移動手段の確保とともに、過度に自家用車に依存せず外出しやすい環境づくりを目指す

【交通結節点とモビリティハブの定義】

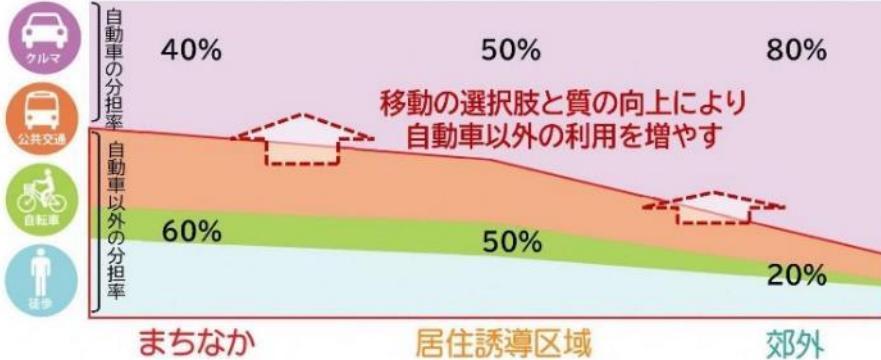
交通モード	交通結節点	本市の状況
鉄道	駅(JR・IR) 駅(北陸鉄道)	多様な交通モードが接続・乗継するため、これまで積極的に整備
バス、地域運営交通	バス停留所	それぞれの整備を行ってきたが、連携強化が必要
タクシー	タクシーベイ等	
自転車	駐輪場・ポート	金沢版モビリティハブ 地域に応じて多様な交通モードを円滑に接続・乗継する拠点を整備
自動車	パーク・アンド・ライド	

※モビリティハブ：鉄道・バス・タクシー・地域運営交通・シェアサイクル・自動車などの多様な交通モードとの接続・乗継拠点

第3次金沢交通戦略における公共交通重要路線



【各エリアにおける交通モードの利用イメージ】



報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について

- 第3次金沢交通戦略にて掲げる目指す姿の実現に向け、各施策を推進するうえで活用を想定している国補助等の申請に必要となる金沢市地域公共交通利便増進実施計画を変更する。(策定は令和6年9月)

記載する主な取組

- ・北陸鉄道線(石川線)一路線バスの乗継企画乗車船券の発行
 - ・バス走行環境の充実(バスレーンの強化)
 - ・金沢ふらっとバスEV化
 - ・金沢版モビリティハブの整備
 - ・連節バスの導入
- ※赤字が変更(追記)する内容

報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について

地域公共交通活性化再生法に基づき策定する計画

R6.8開催の資料を一部修正

地域公共交通計画

第3次金沢交通戦略(令和5年3月策定)

※ 地域公共交通計画が策定されていないと、地域公共交通利便増進実施計画を策定することができない

地域公共交通利便増進実施計画

利便性の高い地域旅客運送サービスの持続可能な提供を確保するための事業(利便増進事業)の内容を記載

※ 地域公共交通計画に地域公共交通利便増進事業を活用する主旨の記載が必要

「本協議会にてご報告させていただく内容
・**地域公共交通利便増進実施計画の変更について**

計画を策定することで受けることができる国の財政的な支援メニュー

社会資本整備総合交付金

都市・地域交通戦略推進事業、地域公共交通再構築事業

地域公共交通の持続可能性・利便性・効率性の向上に資する施設整備への支援(補助率:自治体負担額の1/2)

【活用を想定する事業例】

- ・企画乗車券の発行
- ・金沢ふらっとバスのEV化
- ・金沢版モビリティハブの整備 など

地域公共交通確保維持改善事業

先進車両導入支援事業

地域公共交通ネットワークの形成に必要な先進車両の導入を支援(補助率:自治体負担額の1/2)

【活用を想定する事業例】

- ・金沢ふらっとバスのEV化
- ・連節バスの導入(※前回より追記) など

金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更

令和6年8月開催の資料を一部修正

1. 地域公共交通利便増進実施計画策定の目的

第3次金沢交通戦略に掲げる基本的な考え方である「歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり」と「交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり」の実現に向け、交通に関する各施策を推進するため、「金沢市地域公共交通利便増進実施計画（以下「本計画」という。）」を策定する。

今回、国から本計画の認定を受けることで、国庫補助（社会資本整備総合交付金など）の活用が可能となる。

【国庫補助金活用までの流れ】

- ① 「金沢市地域公共交通利便増進実施計画」の策定〔本市〕 →国認定
- ② 「社会資本整備総合交付金」の申請〔本市〕 →国交付
- ③ 交付決定通知後に交通に関する施策の推進（令和6年11月から実施）

2. 計画の位置付け

本計画は、「金沢市都市計画マスタープラン」などの上位計画や「金沢市集約都市形成計画」、ゼロカーボンシティなどの関連計画と調整・整合を図るとともに、「石川中央都市圏地域公共交通計画」と連携し、本市の交通まちづくりを示す「第3次金沢交通戦略」を具体化するための実施計画として位置付ける。

3. 計画の枠組み

- ①計画期間 令和6年度～令和9年度の4年間
- ②実施区域 金沢市域
- ③実施体制 金沢市や交通事業者等により事業を実施

報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について

4. 本計画の事業概要

令和6年8月開催の資料を一部修正

- ①北陸鉄道石川線一路線バスの8時間乗り放題乗車券の発行（区間制限あり）
- ②バスレーンの強化
- ③金沢ふらっとバスのEV化
- ④金沢版モビリティハブの整備
- ⑤連節バスの導入

①～⑤の事業により、公共交通の利用促進や利便性向上を図り、公共交通を優先したまちづくりの実現を目指す

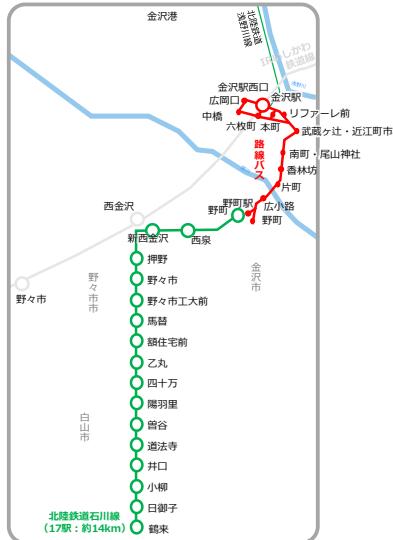
【事業概要の主な内容】

①

北陸鉄道石川線一路線バスの
8時間乗り放題乗車券の発行

乗り放題の共通乗車券の発行により、
乗継抵抗の低減や線鉄道を含む公共交通
の利用促進を図る

【乗り放題区間図】



②

バスレーンの強化

社会実験を通じたバスレーンの強化により、
公共交通の定時性や速達性を確保し、
利便性向上を図る

【バスレーン社会実験区間図】



③

金沢ふらっとバスのEV化

金沢ふらっとバスのEV化により、ゼロ
カーボンシティの推進を図る

【金沢ふらっとバスEV車両導入路線】
(此花ルート 下図の青路線)



報告第1号 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更について

4. 本計画の事業概要（前ページの続き）

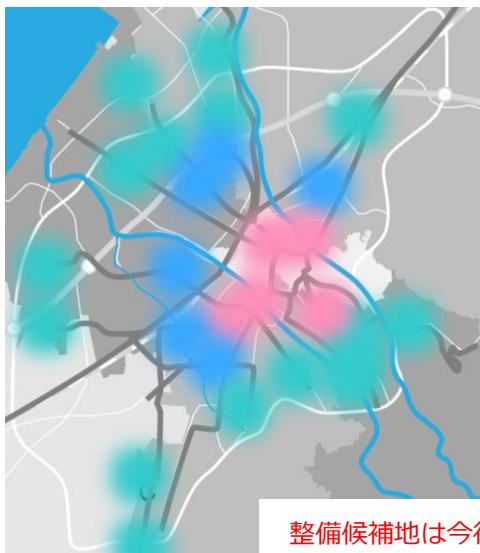
【事業概要の主な内容】

④

金沢版モビリティハブの整備

多様な交通モードの接続点となるモビリティハブの整備により、公共交通の利用環境を向上・強化し、公共交通の利用促進を図る

【都市構造に応じた整備イメージ、各タイプイメージ】



整備候補地は今後、順次公表



⑤

連節バスの導入

まちの新たなシンボルとなる連節バスの導入により、輸送力の確保や公共交通の利用者増加を図る

【連節バス導入路線】



市内路線を想定

【連節バス車両イメージ】
※車種等は検討中



出典：神戸市・神姫バス



出典：連節バス走行実験
(令和元年)

参考 金沢市周辺の都市交通

- 北陸新幹線が発着する金沢駅を交通結節点として、鉄道線（IRいしかわ鉄道線・北陸鉄道浅野川線）や、路線バス（北陸鉄道・西日本JRバス等）による交通ネットワークを形成。
- なお、昭和42年まで金沢市内中心部に路面電車（北陸鉄道金沢市内線）が存在したが、急速なモータリゼーションによる道路混雑の影響で廃止。その後のバス専用レーンの整備とあわせ、路線バスが都市内の主要な公共交通を担う。



出典:ほくてつニュース(2023年10月号)

参考 金沢の公共交通を巡る状況とモビリティハブの必要性

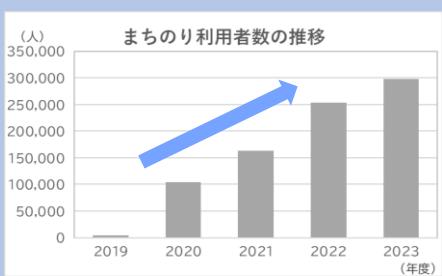
- コロナ禍・燃料価格高騰・「2024年問題」・能登半島地震等により、ここ数年、需要・供給の両面から、**既存の公共交通は危機的な状況に直面。**
- 需要面では、**コロナ禍により鉄道・バスの利用者が減少**し、現在に至るまで完全な回復には至っていない。他方、公共シェアサイクル「まちのり」の利用者数は年々増加するなど、変化の局面。
- 供給面では、労働時間規制強化も相まって、**バス運転士不足により、路線の減便・廃止が急激に進行。**
- このような状況の変化にあって、今後も**持続可能な交通ネットワークを形成するため**、鉄道・路線バス等の幹線交通と、公共シェアサイクル「まちのり」、地域運営交通、自転車、自家用車等の**様々な交通モードを組みわせた移動の利便性向上**のため、市内の**交通結節点を機能強化し「金沢版モビリティハブ」として整備。**

需要面

鉄道・バス利用者の減少



シェアサイクル利用者数の増加

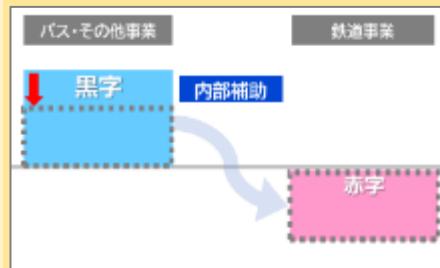


供給面

バス運転士の不足



交通事業者「内部補助」の限界



金沢版モビリティハブ



様々な交通モードを組み合わせた移動が可能となる
交通結節点を整備し、持続可能な交通ネットワークを形成 13

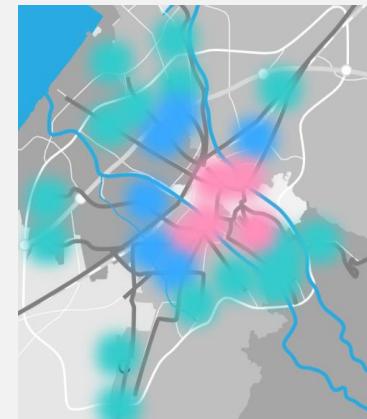
参考 金沢版モビリティハブの基本設計

- 鉄道・路線バス等と、公共シェアサイクル「まちのり」、地域運営交通、自転車、自家用車等の様々な交通モードを組みわせた移動の利便性向上のため、市内の交通結節点を機能強化し「金沢版モビリティハブ」として整備。
- モビリティハブは、周辺施設と連携した待合空間の整備・Kパークの活用なども視野に入れつつ、地域の実情に応じ、①まちなか型、②準郊外型、③郊外型とし、市内各エリアの公共交通重要路線沿線に、合計20箇所程度整備することを目指す。

第3次金沢交通戦略が目指す姿



モビリティハブの整備候補エリア



実施する取組

① 情報提供強化

- 共通案内サイン
- デジタルサイネージ
- 路線図・時刻表
- 周辺地図

This image shows a digital information kiosk for a 'Mobility Hub'. It displays a map of the area, a bus route map, and a list of nearby facilities. A callout box provides a detailed view of the '共通案内サイン・デジタルサイネージ' (Common Information Sign-Digital Signage) interface, which includes a map, a bus schedule, and a QR code for IC cards.

② 乗継円滑化

- 駅・バス停・タクシー乗り場・まちのりポート・駐輪場・駐車場等の相互の乗継案内

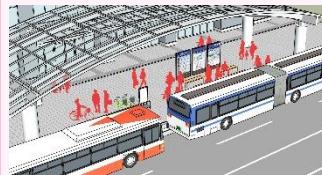
③ 待合環境強化

- 周辺施設等とも連携した待合空間の拡充

標準的な機能(タイプ別)

まちなか型

概ねまちなか区域内



- 周辺施設とも連携した待合空間
(上屋・シェルター、ベンチ等)
- まちのりポート

準郊外型

中環状道路の内側



- 上屋・シェルター、ベンチ等
- まちのりポート
- パーク・アンド・ライド駐車場
(Kパーク、公設駐車場等)
- 駐輪場

郊外型

中環状道路の外側



- 上屋・シェルター、ベンチ等
- パーク・アンド・ライド駐車場
(Kパーク、公設駐車場等)
- 駐輪場

参考 金沢版モビリティハブにおける情報提供のイメージ



地名 Place Name

Mobility Hub



片町

13:45 30 石川県立大学

13:46 51 みどり二丁目

石川線
(野町駅)

13:58 87 野町駅

13:59 03 シティライナー 野町駅

兼六園

13:52 10 東部車庫

13:57 93 金沢大学

武蔵ヶ辻

13:47 城下まち金沢周遊バス

13:49 10 金沢駅西口

金沢駅

13:47 城下まち金沢周遊バス

13:49 10 金沢駅西口

遅れ情報はありません

路線図



ご利用できる ICカード



北陸鉄道バス
(城下まち金沢周遊バスを除く)



北陸鉄道 ICA が利用可能
※全国共通系 ICカードは利用出来ません



城下まち金沢周遊バス



全国共通系 ICカードが
利用可能 (PiTaPa, ICOCA, PASMO, Suica など)



西日本JRバス



見本

全てのバスで、金沢市内一日
フリー乗車券がご利用できます
ONE DAY PASS Available



周辺案内



●●バス停 50m

まちのりポート 70m

●●地下駐輪場 70m

●●百貨店 10m

参考 連節バスの導入

- 全国的なバス運転士不足の中で、路線バスの持続可能性強化の必要性が高まっており、運転士1人当たりの輸送力を高め、また、わかりやすく乗ってみたくなる移動手段とするため、金沢市内での連節バスの導入を進める。
- 市内の道路環境で連節バスの安全運行が可能かを見極めるため、過去の走行実験の結果も踏まえ、令和7~8年度に走行環境を整備・令和9年度以降に市内路線での営業運行に連節バスを導入して実証運行を行い、その上で市内各方面での本格運行に向けた課題を検証する。

第3次金沢交通戦略が目指す姿



バス運転士不足の状況



輸送力の比較

通常のバス：約80人
約1.5倍

連節バス：約120人

(※ カタログデータに基づく
数値)

出典：北陸鉄道

連節バス車両のイメージ



出典：神戸市・神姫バス



出典：川崎鶴見臨港バス

過去の連節バス運行実験の様子



出典：連節バス走行実験(令和元年)



出典：金沢都心軸基幹バス(シティライナー)
利用推進プロジェクト(平成16年)



※ 連節バスの運行に向け、必要に応じて道路環境の改良を行う。

※ 実証運行の内容は、
関係者協議により変更となる場合がある

報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

概要

- 金沢ふらっとバス此花ルートの車両電動化に併せ、デザインをリニューアルすることとなり、金沢美術工芸大学の学生からデザイン案を募り、寄せられた複数の案から市民投票により新デザインを決定した。
- 投票で選ばれたデザインを制作した学生が、他3ルート（菊川・材木・長町ルート）のデザインを担当し、この度、政策が完了したことから、本協議会にて報告する。
- 今後更新となる車両は、電気・ディーゼルとともに、新デザインのラッピングを施す予定である。
- 此花ルートの電動バスは、本年3月末に実車をお披露目し、4月上旬から運行する予定である。

制作者

(敬称略)

- 制作 者：金沢美術工芸大学
 美術工芸学部 デザイン科 製品デザイン専攻 4年
 関口 優月（せきぐち ゆづき）

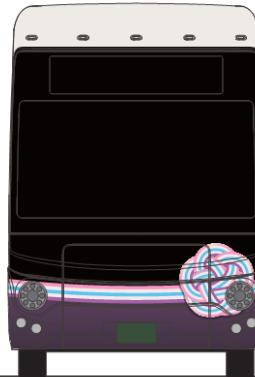
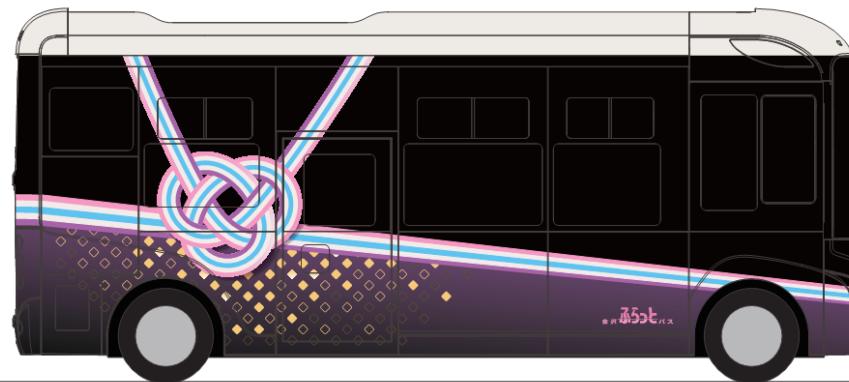
- 指導教官：金沢美術工芸大学
 美術工芸学部 美術科 油画専攻 教授
 岩崎 純（いわさき じゅん）

- 指導教官：金沢美術工芸大学
 美術工芸学部 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻 講師
 矢島 幹生（やじま みきお）

報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

水引が結ぶ絆

此花ルート

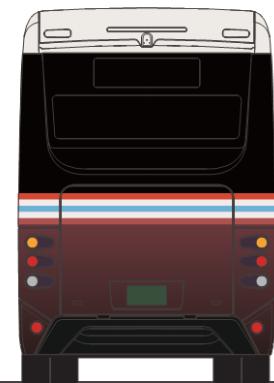
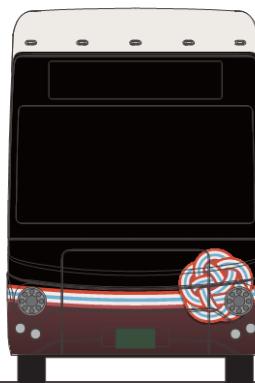
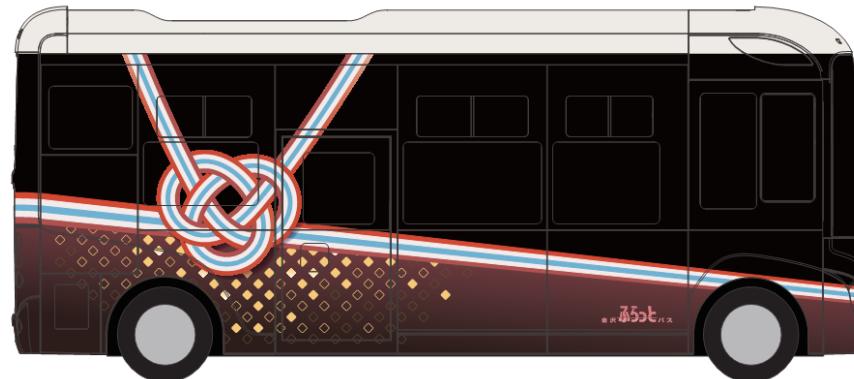


コンセプト

金沢らしい和のイメージとして水引をモチーフにし、あわじ結びと梅結びを大胆に配置することで街とバス、乗客と運転手との間にある「ほどけることのない人と人の固い絆」への祈りを込めました。表現をシンプルにすることで伝統的なイメージに新しさが融合したデザインを狙いました。

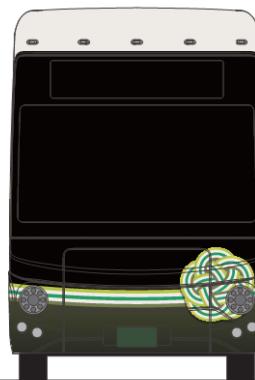
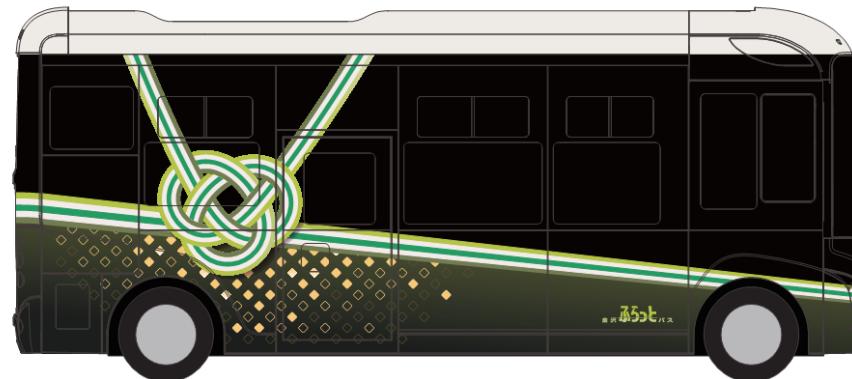
報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

菊川ルート



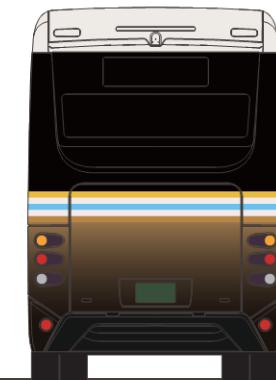
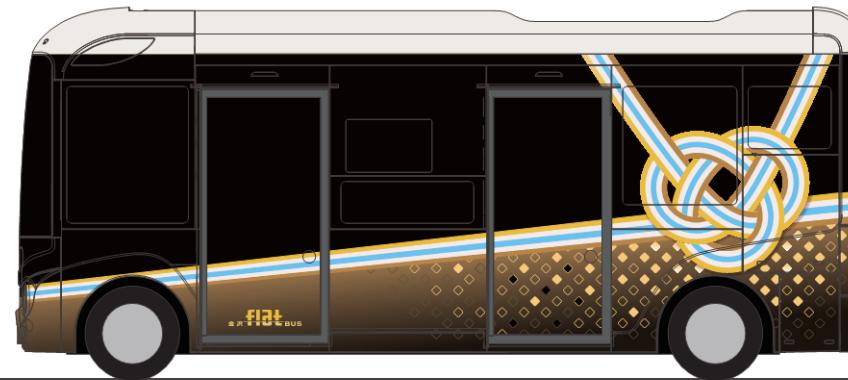
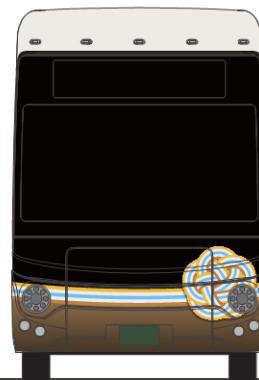
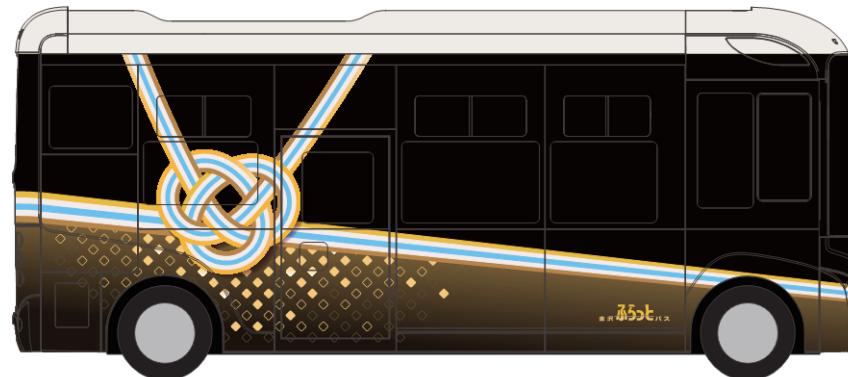
報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

材木ルート



報告第2号 金沢ふらっとバスの新車両デザインについて

長町ルート



報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

令和6年度 第2回金沢市交通まちづくり協議会 地域交通検討専門分科会

日時：令和7年1月24日（金）10時～

場所：金沢市役所第二本庁舎 2階 2202会議室

会議次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

議案第1号：大浦・川北地区地域運営交通運行計画の変更（案）

議案第2号：鈴見・若松地区地域運営交通運行計画の変更（案）

議案第3号：大野地区地域運営交通の試験運行（案）

4. 閉会

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

金沢市交通まちづくり協議会 地域交通検討専門分科会委員及び出席者名簿 【委員】 (敬称略)

役職名	委員名	備考
金沢工業大学工学部環境土木工学科准教授	片桐 由希子	会長
国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所道路管理第一課長	藤 真生	
国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局首席運輸企画専門官(企画調整担当)	入口 伸彦	代理:首席運輸企画専門官(輸送・監査部門) 長谷川 寛和
石川県土木部道路整備課長	小寺 基	
石川県警察本部交通部交通規制課長	伊藤 悅隆	代理:規制補佐 宮下 真希
一般社団法人石川県タクシー協会専務理事	宮崎 芳信	
西日本旅客鉄道株式会社金沢支社地域共生室長	鹿野 剛史	
IRいしかわ鉄道株式会社取締役総務企画部長	杉藤 信之	
北陸鉄道株式会社取締役自動車部長	高橋 航	
西日本ジェイアールバス株式会社北陸支店長	大久保 篤繁	
石川県私鉄バス労働組合協議会議長	的場 達也	
金沢市町会連合会副会長	外山 郁生	
金沢市老人連合会会长	浦上 光太郎	
金沢市都市政策局長	村角 薫明	
金沢市土木局道路管理課長	伊藤 錠和	

【事業主体関係者】

名 称	出席者	備 考
大浦・川北地区地域運営交通 「おおらっこ・かわきた号」	東間 博恭 木谷 博一	大浦校下町会連合会 会長 川北地区町会連合会 会長
鈴見・若松地区地域運営交通 「のってこ」	誉田 豊 竹味 能成	田上・杜の里校区地域運営バス運行委員会 会長 〃 事務局長
大野地区地域運営交通 「すいととカナザワ大野町」	栗森 長八 錢谷 謙一	大野町町会連合会 会長 〃 副会長

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

本分科会の開催趣旨

1 背景

郊外部を中心に地域運営交通の需要が高まっていることから、多様な視点で当該地域運営交通の運行計画を確認し、広く地域の関係者の合意を得た上で運行することを条件とするため、昨年4月に検討組織となる「地域交通検討専門分科会」を金沢市交通まちづくり協議会に設置した。

(構成員：学識経験者、関係行政機関、交通事業者、交通管理者、
道路管理者、市民団体)

2 協議内容

①既存地区の運行計画の変更について

- 大浦・川北地区
- 鈴見・若松地区

②新規地区における試験運行の実施について

- 大野地区

⇒3案件ともに本分科会にて合意をいただいたことをご報告いたします。

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

5 導入事例

地域	大浦・川北地区	内川地区	北部地区 湖南、薬師谷、三谷、 花園、医王山、夕日寺	鈴見・若松地区
名称	おおらっこ・かわきた号	青竹号	チョイソコかなざわ	のってこ
本格運行開始時期	平成26年度	平成26年度	令和5年度	令和6年度
主な目的地	東金沢駅 イータウン金沢 循環器病院	平和町バス停 大桑タウン 市立病院	イオン金沢 森本駅 浅ノ川総合病院	イオンもりの里 アルビス杜の里 クリニック、コンビニ
交通手段	マイクロバス 29人乗り	小型タクシー 5人乗り ジャンボタクシー 10人乗り	ジャンボタクシー 10人乗り、2台	マイクロバス 27人乗り又は23人乗り
運行日・便数	定期：火曜・金曜 (2便)	定期：平日毎日 (2便) 予約：平日毎日 (最大5便)	予約：平日毎日	定期：水曜 (2便)
料金体系	登録・会費制 1世帯当たり 1,000円／年	登録・会費制 大人1人当たり 1,000円／月 小人1人当たり 500円／月	登録・運賃制 湖南・薬師谷 300円／回 その他 400円／回	登録・会費制 大人1人あたり 1,200円／月 小学生・同一世帯成人 600円／月
利用者数	5,751人 (令和5年度)	3,033人 (令和5年度)	5,550人 (令和5年度)	260人 (令和5年11月～3月)
補助率	80%	90%	90%	75%

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

【議案第1号】

大浦・川北地区地域運営交通運行計画の変更（案）

※本運行は、今後の市予算措置を経て実施となるものである。

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

1. 趣旨

趣旨

平成26年度より大浦・川北地区で本格運行している「おおらっこ・かわきた号」について、事業費（貸切バス費用）の増のため、令和7年4月の運行より、会費の値上げを行う。

会費の変更内容

令和7年4月より下記の通り変更

変更前	変更後
1世帯1年あたり 1,000円	1世帯1年あたり 2,000円

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

2. 地域交通計画

地域交通計画の名称	「おおらっこ・かわきた号」運行計画																								
地域交通計画の対象となる交通手段	マイクロバス 29人乗り（乗車定員11人以上）																								
上記の交通手段の運行の経路、計画、経費その他の運行に関する事項	<p>(1) 運行経路及び運行時間帯 別図のとおり</p> <p>(2) 走行時間</p> <table><tr><td>1便目</td><td>車庫出発</td><td>8時30分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>営業</td><td>9時～12時40分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>車庫到着</td><td>13時10分</td><td>合計 4時間40分</td></tr><tr><td>2便目</td><td>車庫出発</td><td>12時20分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>営業</td><td>13時～16時38分</td><td></td></tr><tr><td></td><td>車庫到着</td><td>17時00分</td><td>合計 4時間40分</td></tr></table> <p>(3) 走行距離</p> <p>営業走行距離 片道28キロ（往復56キロ）</p> <p>回送走行距離（車庫～湊）片道8キロ（往復16キロ）</p> <p>(4) 運行日</p> <p>原則 毎週 火・金 延べ104日</p> <p>(5) 利用対象者及び利用料</p> <p>大浦校下町会連合会に属する町会及び川北町会連合会に属する町会の住民 1世帯 1年当り 1,000円 → 2,000円</p>	1便目	車庫出発	8時30分			営業	9時～12時40分			車庫到着	13時10分	合計 4時間40分	2便目	車庫出発	12時20分			営業	13時～16時38分			車庫到着	17時00分	合計 4時間40分
1便目	車庫出発	8時30分																							
	営業	9時～12時40分																							
	車庫到着	13時10分	合計 4時間40分																						
2便目	車庫出発	12時20分																							
	営業	13時～16時38分																							
	車庫到着	17時00分	合計 4時間40分																						

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

2. 地域交通計画



毎週
火曜・金曜
運行中！

令和6年8月改定

バス停番号	バス停	マイクロバス		マイクロバス	
1	湊	9:00	12:38	13:00	16:38
2	湊	9:00	↑ 12:38	13:00	16:38
3	湊	9:01	12:37	13:01	16:37
4	東蚊爪 美里医院	9:04	12:34	13:04	16:34
5	東蚊爪	9:06	12:32	13:06	16:32
6	東蚊爪	9:07	12:31	13:07	16:31
7	大 浦 大浦公園	9:09	12:29	13:09	16:29
8	大 浦 豊栄神社	9:10	12:28	13:10	16:28
9	大 浦	9:12	12:26	13:12	16:26
10	木 越	9:16	12:22	13:16	16:22
11	木 越 福千寺	9:16	12:22	13:16	16:22
12	木 越 近藤クリニック	9:18	12:20	13:18	16:20
13	木越団地 グラウンド	9:20	12:18	13:20	16:18
14・24	木越団地 ピューティサロンナンナ	9:22	12:16	13:22	16:16
15・23	木越団地	9:23	12:15	13:23	16:15
16・22	みずき 3丁目バス停	9:24	12:14	13:24	16:14
17・21	みずき 2丁目バス停	9:25	12:13	13:25	16:13
18・20	みずき 1丁目バス停	9:26	12:12	13:26	16:12
19	イオン金沢	9:31	12:07	13:31	16:07
20・18	みずき 1丁目バス停	9:36	12:02	13:36	16:02
21・17	みずき 2丁目バス停	9:37	12:01	13:37	16:01
22・16	みずき 3丁目バス停	9:38	12:00	13:38	16:00
23・15	木越団地	9:39	11:59	13:39	15:59
	木越団地 3丁目バス停				
24・14	木越団地 ピューティサロンナンナ	9:40	11:58	13:40	15:58
25	木 越 すがわら整形外科クリニック	9:42	11:56	13:42	15:56
26	大 浦 大浦東口	9:44	11:54	13:44	15:54
27	青和病院	9:46	11:52	13:46	15:52
28-1	北寺新町 公園前	9:47	11:51	13:47	15:51
28-2	北寺町	9:48	11:50	13:48	15:50
29	北寺上町 北寺中町	9:49	11:49	13:49	15:49
30	松寺団地前	9:50	11:48	13:50	15:48
31	松 寺 松寺公民館	9:53	11:45	13:53	15:45
32	松寺上	9:56	11:42	13:56	15:42
33	木島病院	9:58	11:40	13:58	15:40
34	松寺下	10:00	11:38	14:00	15:38
35	ほがらか村	10:02	11:36	14:02	15:36
36	金沢循環器病院	10:07	11:31	14:07	15:31
37	礪部北	10:11	11:27	14:11	15:27
38	礪部南	10:12	11:26	14:12	15:26
39	沖 町 金沢病院	10:14	11:24	14:14	15:24
40	イータウン金沢	10:18	11:20	14:18	15:20
41	JR東金沢駅 西口	10:23	11:15	14:23	15:15

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

2. 地域交通計画

まちゅう かわきな号 コミュニティバス路線図と時刻表



報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

【議案第2号】

鈴見・若松地区地域運営交通運行計画の変更（案）

※本運行は、今後の市予算措置を経て実施となるものである。

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

1. 趣旨

趣旨

令和6年度より鈴見・若松地区で本格運行している「のってこ」について、利用者からの要望及び運行の定時性を確保するため、令和7年4月の運行より、経路変更等を行う。

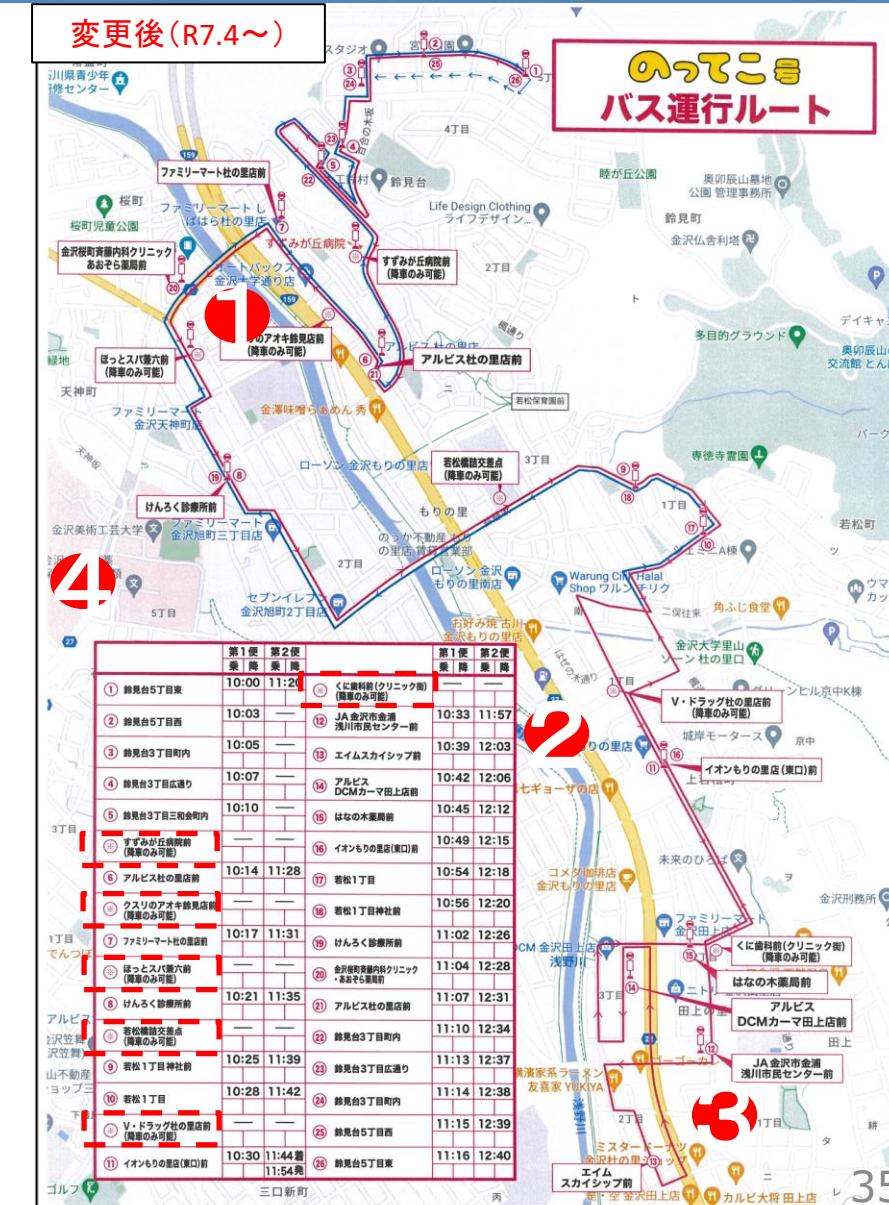
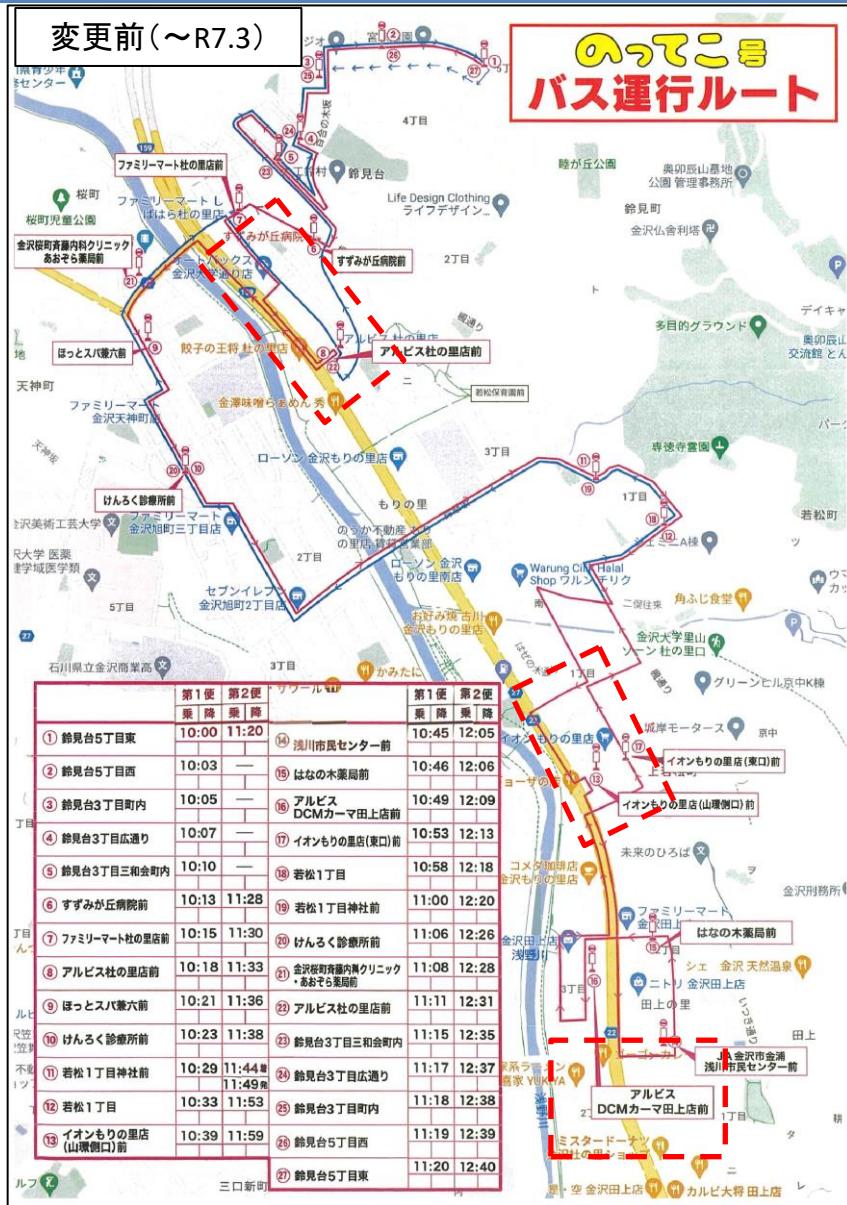
運行の経路内容

令和7年4月より下記の通り変更（次頁運行経路図比較あり）

変更箇所	変更内容	理由
①	停留所「アルビスもりの里店前」から「ファミリーマートもりの里店前」の間を、大通りから裏通りに経路変更	時間短縮のため
②	停留所「イオンもりの里店（イオン）」の山環側口前を通らず、東口前に統一する経路変更	時間短縮のため
③	停留所「エイムスカイシップ前」を通るため、経路を延伸	利用者からの要望
④	6箇所の停留所を降車専用に変更	時間短縮のため

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

2. 運行経路図



報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

3. 地域交通計画

地域交通計画の名称	のってこ 運行計画
地域交通計画の対象となる交通手段	マイクロバス
上記の交通手段の運行の経路、計画、経費その他の運行に関する事項	<p>(1) 運行経路 別図のとおり</p> <p>(2) 運行日 (原則) 毎週、水曜日</p> <p>(3) 1日当たりの運行便数及び運行時間帯 (原則) 定時定路線型 2便/日 午前10時、11時20分発</p> <p>(4) 運行形態 大和タクシー㈱に運行委託</p> <p>(5) 使用車両 マイクロバス (27人乗り) 又は (23人乗り)</p> <p>(6) 運行経費 走行距離及び時間により算定</p> <p>(7) 利用対象者 若松町1丁目町会、鈴見台第三町会、鈴見三和会、 鈴見台5丁目町会の地域に居住する住民</p> <p>(8) 会費 1人当たり 年12,000円、6箇月7,000円、1箇月1,200円 小学生及び同一世帯成人割引 年6,000円、6箇月3,500円、1箇月600円</p> <p>※ 障害者付き添い人、未就学児 無料</p>

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

【議案第 3 号】

大野地区地域運営交通の試験運行（案）

※本試験運行は、今後の市予算措置を経て実施となるものである。

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

1. 経緯・目的

趣旨

令和7年4月の運行開始を目指し、大野町町会連合会が計画する大野地区地域運営交通「すいっとカナザワ大野町」の試験運行に係る「地域交通計画」について、本分科会にて、協議を行う。

⇒本分科会で合意いただいた場合、

令和7年4月14日から最大8箇月間、試験運行を実施予定

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

1. 経緯・目的

町会連合会等との検討状況

【令和5年4～6月】

大野町町会連合会にて、

- ①高齢者などが自力でお出かけできる環境を整える
- ②観光客を大野地区に呼び込むための移動手段を確保する

手段として、地域運営交通の活用を検討開始。

⇒マイクロバスにより、**大野・金石・大徳地区を巡るルートを立案**

(住民も観光客も利用できる路線定期運行)

【令和5年12月】

各種会合や住民アンケートの結果(令和5年8月実施)を受け

試験運行の実施を目指すこととなる。

【令和6年1月～6月】

運行事業者(タクシー会社)と協議

- ・運行事業者からは誰でも利用できる定時定路線バスの運行は困難との回答
- ・運行費の大幅増

【令和6年5月～7月】

国の指針や路線バスの現状、他都市の状況等を追加調査

- ・役割分担の観点から、路線バスと競合するルートや目的地を設定することや
観光客の利用も視野に入れることは、困難であるとの結論

【令和6年8月～10月】

地元住民の生活圏の移動手段の確保を念頭に**再検討**を開始

(8月 大野まちづくり協議会にて、オンデマンド方式の区域運行を説明し、一定の理解を得る。)

【令和6年11月】

⇒ 11月 町長会議にてAIデマンドを活用した**試験運行実施の地元合意**

2. 試験運行の内容等

②試験運行の概要

1. 事業主体
大野町町会連合会
2. 運営主体
次世代型交通システム推進協議会
3. 運行事業者
市内タクシー事業者
4. 運行日時
平日（月曜～金曜）
午前8時30分から午後3時30分まで
※祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
は除く
5. 運賃（1回当たり）
300円（金石バスターミナル・金沢港
クルーズターミナルでの乗降は200円）
6. 運行台数
ミニバン1台を運用
7. 利用対象
大野町町会連合会の区域に居住する小学生
以上の住民

〔運行区域図〕



※道路運送法第21条（臨時の許可）による運行

2. 試験運行の内容等

8. 予約受付時間

電話：平日 8時30分～16時、スマホ：24時間

9. 停留所

各町会のゴミステーションのほか、協賛スポンサー店舗、金石バスターミナル付近、金沢港クルーズターミナル等

10. 試験運行の期間

令和7年4月14日から最大8箇月予定

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

2. 試験運行の内容等

③運行区域の考え方

凡例

公共交通重要路線

○ 重要路線バス停

■ 運行区域

△ 重要路線から100m圏

大野地区

金石地区(一部)

大徳地区(一部)

金石バスターミナル

西警察署前

金沢海みらい図書館前

中

北中

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

4. 地域交通計画

地域交通計画の名称	すいっとカナザワ大野町 運行計画
地域交通計画の対象となる交通手段	ミニバン（5人利用・6人定員）
上記の交通手段の運行の経路、計画、経費その他の運行に関する事項	<p>(1) 運行方法 区域運行</p> <p>(2) 運行区域及び運行日・時間帯 運行区域 金沢市大野地区、金石地区（一部）、大徳地区（一部） ※別図のとおり 運行日 毎週月曜～金曜 ただし、土日祝、12/29～1/3は運行しない 運行時間帯 8：30～15：30</p> <p>(3) 運賃 1乗車当たり300円 (金沢港クルーズターミナル及び金石バスターミナルでの 乗降は、200円)</p> <p>(4) 利用対象者 大野町町会連合会の区域に居住する小学生以上で、 会員登録された方</p>

報告第3号 地域交通検討専門分科会開催結果報告について

3. 今後のスケジュール（予定）

R 7.1 [本日]

○金沢市交通まちづくり協議会地域交通検討専門分科会の開催

学識経験者、交通事業者、道路管理者、市民団体、関係行政機関等で構成する
本分科会において、「**地域交通計画**」について**合意**

○試験運行の許可申請（道路運送法第21条）を石川運輸支局へ提出 [運行事業者]

R 7.3

○試験運行の許可（道路運送法第21条）を取得 [運行事業者]

R 7.4

○「すいと力ナザワ大野町」試験運行開始（4月14日から最大8箇月予定）

※今後の市予算措置を経て実施

※利用状況等を踏まえ、本格運行（道路運送法第4条（乗合許可））へ
移行する場合は、本分科会にて、地域交通計画の合意を得る。

今後のスケジュール（予定）

令和7年2月下旬

書面開催①

- ・審議事項 金沢市地域公共交通利便増進実施計画の変更(案)

令和7年3月下旬

書面開催②

- ・報告事項 令和6年度事業報告、収支決算見込
- ・審議事項 令和7年度事業計画、収支予算(案)